

## NGO インターン・プログラム 完了報告書

団体名	特定非営利活動法人 Colorbath
育成期間	令和7年6月1日～令和8年3月31日
氏名	島村 紀穂

**1) インターン期間を通じて得たもの**

本インターン期間を通じ、「持続可能な国際協力」の実践に不可欠な「突破力」と「調整力」という二つの能力を習得したと考えています。

・「0 から 1」を形にする事業推進能（突破力）： 現地リソースを最大活用したエコエネルギー事業の立ち上げ、起業家育成プラットフォーム「SIFA (Social Innovators Forum Africa)」の構築を主導しました。知り合いやコネクションがほぼないというリソースの限られた環境下でも、諦めずにネットワーク構築を続け、「自走する事業モデル」へと昇華させるプロセスを完遂したことで、実戦的なスキルを確立したと考えています。

・多セクターを繋ぐ合意形成能力（調整力）： JICA 草の根協力支援事業や、日本企業との共創プロジェクトにおいて、現地政府・コミュニティ・民間企業という異なる利害関係者の間に立ち、共通のゴールを提示する調整役を担いました。SIFA の開催においては、クロスナショナル・クロスセクターな繋がりを創出し、参加者の **94.3%**から高い推奨意向を得るなど、目に見える成果を伴うプラットフォーム構築を実現しました。調整ちよくとは、単に参加者やスケジュールを調整するだけではなく、それぞれに参加の意義、価値といったメリットを提示しつつ、人と人との関係性を作っていくことだと学びました。

**2) 今後の課題**

活動を通じて、現地におけるイノベーションの「芽」を育てることに成功しましたが、それを「持続的な産業」へとスケールさせるための以下の点が今後の課題だと考えています。

・事業の持続性とマネタイズの深化： SIFA を通じて生まれたビジネスアイデアが、一過性のイベントで終わらず、実際に市場へ展開するための伴走支援体制の強化が必要。特に、今回集めきれなかった投資家や金融機関との連携をより強固にし、「真に起業家を輩出する」資金調達から事業化までをシームレスに繋ぐエコシステムの構築が必要である。

・活動の広域化と質の高度化： 次回開催に向けた参加人数の倍増、およびマラウイ全土を網羅する規模への拡大。また、若者がワクワクして参加したい、と自発的に思えるようなコンテンツのインタラクティブ性を高め、現地の若者が「主体的に参加し続け

る」動機付けをいかに維持するかが、中長期的なインパクトの鍵となると考えています。

### 3) 今後の進路について

令和7年度 NGO インターン・プログラム本プログラムで得た「現場主導の事業構築経験」を軸に、引き続き、Colorbath の活動をさらに加速させることに貢献して行きたいです。特に、SIFA の日本企業と現地の若手起業家を繋ぐハブとしての機能を強化していきたいと考えています。また、すでにキックオフをした企業向け新規事業をはじめ、団体としての収益安定性・持続性に寄与するようなスキームづくり・体制づくりを、主導して進めていきたいです。

さらに、本期間では深く関わることのできなかつたネパールにおける事業についても関心を持って把握し、団体全体としての今後の戦略やリソース配置についても検討のできる、マネジメント層としての意識を高めて貢献していきたいと考えています。

長期的には、所属を問わず、開発途上国におけるソーシャルビジネスの創出と拡大に寄与する専門家として活躍したいと考えています。

### 4) 団体コメント欄

島村さんは、弊団体のビジョンである「想いをカタチに」を、マラウイという極めて困難な現場において高いレベルで体現してくれました。特に、複数のステークホルダーを巻き込み、短期間で SIFA のような大規模なプラットフォームをゼロから構築した実行力は特筆に値します。現地の人々に「孤独ではない挑戦の場」を提供し、94%を超える高い満足度を得たことは、島村さんの誠実な対話と粘り強い調整の賜物です。今後は、本プログラムで培った「現場感覚」と「事業構築力」を武器に、日本とアフリカを繋ぐ次世代のリーダーとして、国際協力分野を牽引していくことを強く期待しています。